

パソコン教室新聞

「日本の学生のパソコンスキルは先進国で最低レベル」とこののを「存じですか? アメリカの「コーズ雑誌」「コーズワーク」でそんな記事が報じられていました。

普及しているように見えるが

学生など若者を見ていると、皆がスマートフォン片手に、学校ではパソコンの授業もありと、機器に精通しているように見受けられる昨今です。が、アメリカやドイツなど先進国を見てみると、若者のスマートやパソコンの所持率がなんと最低だったという調査報告があります。(ホームページで言えば、日本以外は7割を超えます)が、日本は5割にも満たない状況です)

だったら、家族で共用しているのかといえば、そうでもないよう、総合すると「若者の半数がパソコンを持たず、3割は共用もしていない」結果になつたそうです。

メールやネットで情報収集する、ゲームする、といったことはスマートでも可能ですが、それ以上のことや仕事上となると、やはりパソコンを使うという「スキル」が求められます。

パソコンのスキルは?

パソコンのスキルは、先進諸国では実際どの位置にあるのでしょうか。

エクセルなどでグラフが作れるか、パワーポイントなどでプレゼン資料が作れるか、を題材に各国調べてみると、これがまた日本は最低レベルという結果となりました。

(「やきゅう」としたもののが3割程度にとどまつた)

パソコンを所持しているとした割合になんとなく合致しています。

記事では「日本での情報教育の遅れと、パソコンに触れる機会を増やし、教育の場も実際の社会並に情報化を進める必要がある」と結んでいます。

若者にパソコンの基礎的なことを教える機会もありますが、若いからといってそういうスキルが備わっているかといえば、そういう印象があります。

(若いからできゅうのは当てはまりない感じです)



スキルの測り方

習字や空手などの習い事のスキルは、級位や段位を取得することで測れます。では、絵画や音楽などはどうでしょうか。段位などない代わりに、練習を積むにつれ、実感としてテクニックが増して上手くなつていきます。

(ヴァイオリンなど思い浮かべれば想像づきますね。)

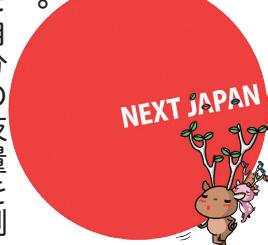
さて、パソコンはどうでしょう。絵画などと同じように、練習を積むにつれて上手くなつてきます。(始めた当初は文字しか入力できなかつたのに、今では家計簿までスイスイ作れるようになつたなど)また、パソコンの資格試験を受けるのもスキルの測り方の一つでしよう。

スキルの測り方はそれぞれですが、どれもスキルを得るためにには熟練が必要、ということは共通なようです。

当教室では、スキルを測る

試験が受験できます。文書作成、データ活用、プレゼンテーションの技能を問うテストです。

就活でのアピールに、今のご自分の技量を測るのに、また自分への自信になります。試験は商工会議所が行つていて「PC検定」です。それぞれ「2級」「3級」が受講できます。詳細は教室か商工会議所のWebページを御覧ください。



これからは望むと望まざるにかかわらず、益々パソコンが必要な時代になります。必要なのは若者だけではありません、「アラフィイフ」やそれ以上のお年輩の方、「オーラル」、上の世代

教室のWebページは左記アドレスまたは、QRコードからどうぞ。

学習や訓練で得られた能力、技術のこと

<http://pc-iwakura.com/>



2015.神無月